参加を呼びかける（有料研究）

研究の経:

2019年科学助成金の背景と説明

(1) 研究の目的

本研究の目的は、日本の学生の文章表現が１学年にわたってどのように向上するか、オンライン文法チェッカーが文法的正確さを向上させる上でどれほど効果的であるかを調べることです。

(2）科学的意義および独創性

評価する際は文法の正確さとTOEICの点数が必要とされ、日本人学生が1学年で文章力がどれくらい上達するかについてはほとんど必要とされていません。

(3）手続き

この研究では、毎年各地域の3つの大学機関で、1学年に書かれた120人の生徒の6つ論文の構成を調べます。 以下に示すように、学年度に3つの論文が収集されます。 2つのグループを作ります：トリートメントグループが無料のオンライン文法チェッカー（grammarly.com）を使っている間、コントロールグループは自分の論文を10分かけ編集します。　このグループは、未編集の論文と最終編集論文の両方のコピーを研究者に送付します。

論文1：自己紹介、家族、友達の紹介	個人的な説明	5月20日
論文2：あなたの故郷とあなたが	物理的な説明	7月10日

知っている他の町を比べてみる
論文3：私の人生の中で重要な人々　　個人用な説明　　1月10日
イベント, 状況説明

(4) 九州3大学施設の調査

九州の3〜4大学施設でデータを収集し、約120人の学生の協力をしてもらえるように承諾を頂きます。　学生はさまざまなトピックについて、4か月に1回、合計3つの論文を書くように依頼します。最初の論文は3つの大学施設の間で、共通の特徴や明確な違いが比較されます。 次に、最初の学期からの最初、2番目、および3番目の論文を各大学施設内で比較し、複雑さ、正確さ、流暢さがどのように変化したかを確認していきます。

書面による複雑さ、正確さ、流暢さの点で各大学施設間の類似点と相違点について最終的な分析と議論致します。　また、オンライン文法チェッカーが1学年にわたって文法の正確さを向上させる上でどれほど効果的かを確認することも目的としています。　各小論文につき1,000円が支払われます。　各エッセイは執筆と編集に40分かかります。興味があるなら、あなたの名前と番号を残してください。

金曜日の詳細については、Long教授（room 406）を参照してください（いつでも）。

Teacher:

Student name (Romaji)	Student Number